

第29回「青少年のための科学の祭典」京都大会 報告

第29回「青少年のための科学の祭典」京都大会は京都市青少年科学センター及び京エコロジーセンターを会場に11月9日から2日間開催されました。「ものづくりの街 まなびの街 京都から子どもたちへ」を大会テーマに掲げた本大会は、2日間で延べ約6,100人余の来場者がありました。当日は科学センター展示場も無料公開されました。

京都大会の概要

- 日時： 令和6年11月 9日（土） 10：00～16：30
10日（日） 10：00～16：00
- 会場： 京都市青少年科学センター 及び京エコロジーセンター
- 主催： 「青少年のための科学の祭典」京都大会実行委員会
- 共催： 青少年と科学の会／公益財団法人日本科学技術振興財団
- 後援： 文部科学省/京都府教育委員会/京都市教育委員会/公益財団法人京都市環境保全活動推進協会/京エコロジーセンター/日本物理教育学会近畿支部/NHK/KBS 京都/エフエム京都/京都リビングエフエム/京都新聞/朝日新聞京都総局/産経新聞京都総局/毎日新聞京都支局/読売新聞京都総局/京都リビング新聞社/その他理科関係各研究会等
- 出展数： 56ブース（うち企業ブース4）
- 内容： 参加者が自然科学や科学技術の原理や不思議を楽しみながら理解できる実験・展示・理科工作などの体験
- 大会テーマ： ～「ものづくりの街 まなびの街 京都」から子どもたちへ！
未来をつくる サイエンス&エコ～
- 出展者： 京都を中心とする教育関係者（小・中・高・大の教員や学生・生徒、科学センターの主事）と企業関係者およびボランティア
- その他： 入場料は無料、ガイドブックを無料で配布。

また、独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」及び公益財団法人 東京応化科学技術振興財団 第19回「科学教育の普及・啓発助成」の助成金を受けました。

大会当日の様子

本年度からブースエリアを展示棟まで拡大し、6実験室及びフロアと映写講義室、屋外デッキ・屋外園と京エコロジーセンター1階に配置しました。今回の参加ブース数は56ブースでした。目標を60ブースと設定していましたがほぼ目標を達成することができました。これは広報活動をより充実させたことやブースエリアを科学センター展示棟まで拡大したことなどがその要因であると考えています。また、大会2日間で来場者が延べ6,100人という数字はコロナ禍以前の参加人数に匹敵するものとなりました。

今回から「交流のひろば」を新設し、参加団体や企業、教育関係者、大学生とブーススタッフとして参加している中学生や高校生との交流の場を設けました。参加団体企業作成の広報動画を会場2ヶ所で常時放映したりポスターを「交流のひろば」の壁面に掲示したりしました。科学の祭典を支えてくださっている団体や企業に関して広く参加者に周知することが出来ました。今後こうした広報活動も充実してい

きたいと考えています。

また、中学校・高等学校の各研究会の協力により多くの中学生や高校生が部活動を中心にブースに参加することになりました。中学生によるサイエンスショーに来場者が大きな拍手を送る様子や小学生に分かるようにブースの内容を説明する高校生の姿など、それぞれの部活の特色を生かした内容を楽しく紹介している学生の姿が印象的でした。今後も部活動の時間的制限もある中ですが今後学生によるブースの拡大も図っていききたいと考えています。

